

令和元年東日本台風を踏まえた 「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」

～地域が連携し、多重防御治水により、社会経済被害の最小化を目指す～

構成機関



川越市



東松山市



坂戸市



川島町



埼玉県



気象庁
熊谷地方
气象台



荒川上流
河川事務所



都幾川右岸0.4k付近（埼玉県東松山市早俣地先）の被災状況

令和2年6月

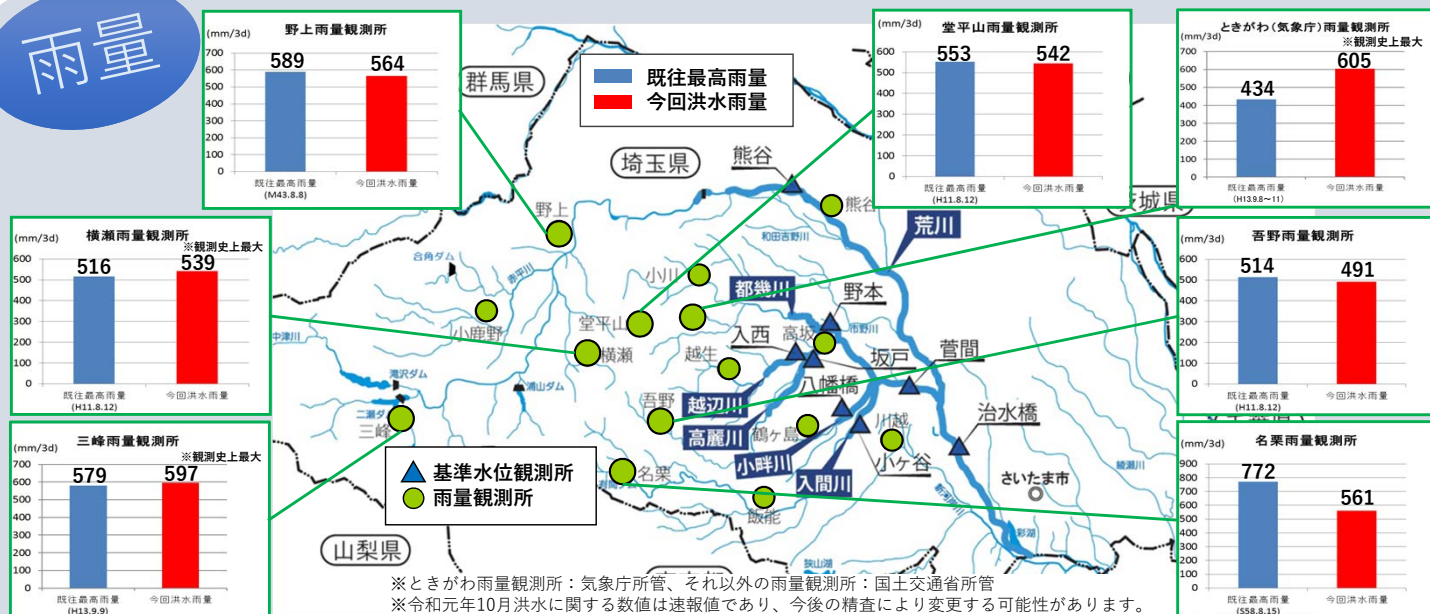
荒川水系（埼玉県域）大規模氾濫に関する減災対策協議会
〈入間川流域部会〉事務局

荒川流域に大きな被害をもたらした令和元年東日本台風

複数の雨量観測所で観測史上最高雨量を記録

○台風本体の発達した雨雲や台風周辺の湿った空気の影響で、広い範囲で記録的な大雨となり、ときがわ雨量観測所、横瀬雨量観測所、三峰雨量観測所では観測史上最高雨量を観測しました。

雨量



荒川や入間川等では多くの水位観測所で観測史上最高水位を記録

○荒川の熊谷及び治水橋観測所、入間川の小ヶ谷及び菅間観測所、小畔川の八幡橋観測所、都幾川の野本観測所、高麗川の坂戸観測所の7観測所において氾濫危険水位を超過しました。

○高麗川の坂戸観測所など5観測所で観測史上最高水位を記録しました。

水位



河川	観測所	生起日時 (毎正時の値)	最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位	過去の最高水位
荒川	熊谷	10月12日 18:00	※6.25m	3.00m	3.50m	5.00m	5.50m	5.65m (H19.9.7)
	治水橋	10月13日 5:00	※13.08m	7.00m	7.50m	12.10m	12.60m	11.58m (H11.8.15)
入間川	小ヶ谷	10月12日 19:00	※3.63m	2.00m	2.50m	3.10m	3.50m	3.34m (H14.7.11)
	菅間	10月13日 1:00	※12.6m	7.00m	8.00m	11.50m	12.00m	11.50m (S33.9.27)
越辺川	入西	10月12日 18:00	3.11m	2.00m	3.00m	3.00m	3.20m	3.80m (S33.9.27)
小畔川	八幡橋	10月12日 22:00	4.21m	3.00m	3.50m	3.60m	4.20m	4.43m (H28.8.22)
都幾川	野本	10月13日 0:00	6.34m	2.00m	3.50m	3.70m	4.10m	6.65m (S22.9.15)
高麗川	坂戸	10月12日 20:00	※4.13m	1.00m	1.50m	2.80m	3.40m	3.79m (S33.9.27)

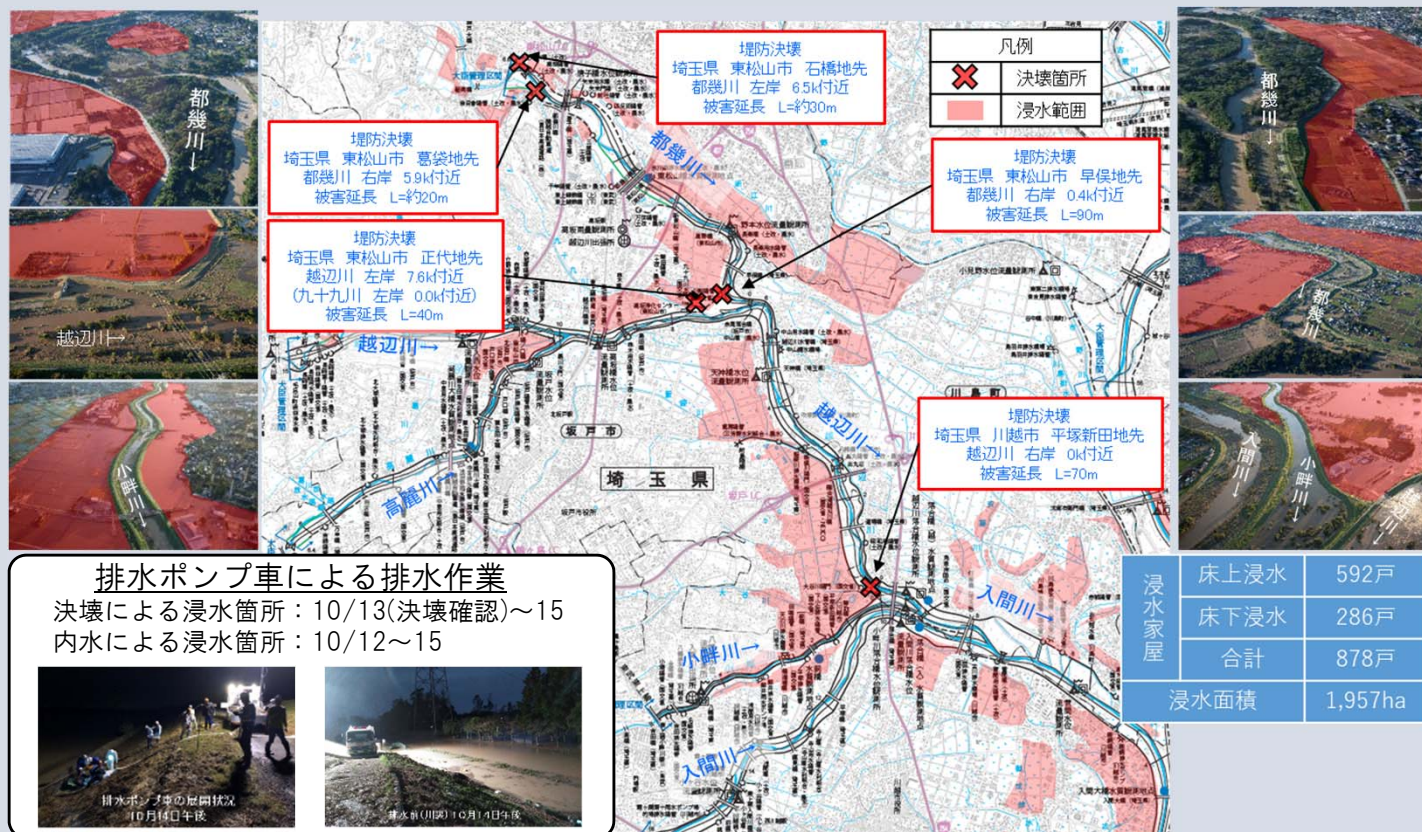
※観測史上最高水位

緊急治水対策プロジェクトを推進

令和元年東日本台風による堤防決壊を受けプロジェクトを推進！

- 荒川水系越辺川、都幾川では、令和元年東日本台風の雨により河川水位が計画高水位を超過し、堤防決壊による外水氾濫が発生しました。
- 令和元年東日本台風において甚大な被害が発生した、荒川水系入間川流域における今後の治水対策を関係機関が連携し、「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」としてとりまとめました。

令和元年東日本台風による被災状況（荒川水系入間川 直轄区間）



令和元年東日本台風を踏まえた「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」を開始

令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した荒川水系入間川流域において、今後、国・県・市町等地域が連携し、“①多重防御治水の推進”、“②減災に向けた更なる取り組みの推進”の2つを柱として取り組んでいくことで、「社会経済被害の最小化」を目指します。

荒川水系（埼玉県域）大規模氾濫に関する 減災対策協議会 入間川流域部会の開催

関係機関による部会を3回開催し、意見交換を行いプロジェクトのとりまとめを行いました。

第1回部会 令和元年12月11日
第2回部会 令和元年12月24日
第3回部会 令和2年1月24日



入間川流域緊急治水対策プロジェクト（ハード対策）

「①多重防御治水の推進」を図ります！

○これまでの治水対策を加速化すると同時に、地域及び各関係機関等が連携して遊水機能の確保や浸水が見込まれる区域における住まい方の組み合わせなども考慮し、多重防御の考え方により浸水被害の軽減対策を検討し推進を図ります。

<主な取組メニュー>

- 河道洪水処理能力の強化
 - ・築堤
 - ・河道の土砂掘削
 - ・河道内の樹木伐採
 - ・危機管理型ハード対策

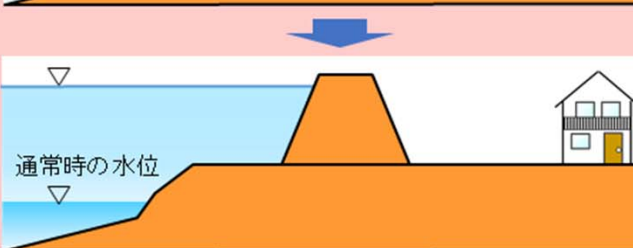
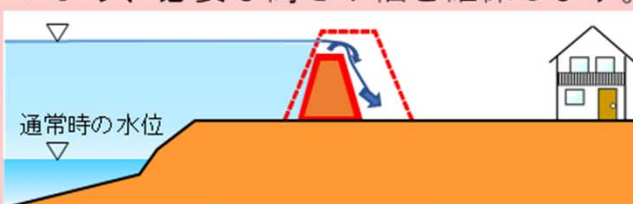
- 遊水機能の確保・向上
 - ・地形や現状の土地利用等を考慮した遊水地等の整備
 - （内水対策とも連動したハイブリッド化を考慮）
 - ・雨水貯留施設の整備

- 内水対策の検討

- 氾濫原の住まい方の工夫
 - ・浸水が想定される区域の土地利用制限（農振農用地の確保、災害危険区域の設定等）
 - ・住宅の嵩上げ、家屋移転（水防事業、防災集団移転促進事業等）
- 高台整備

堤防整備

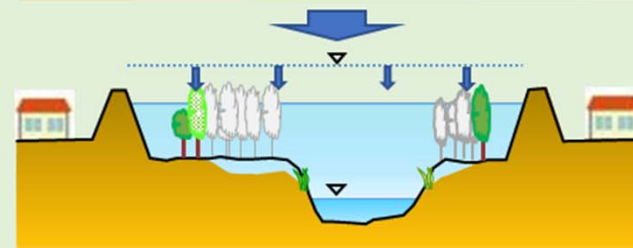
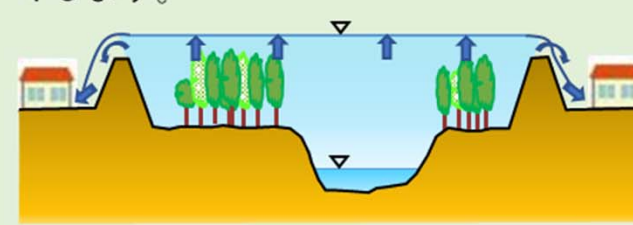
洪水で溢れたり、堤防が壊れたりしないよう、必要な高さや幅を確保します。



※河道内の掘削した土砂も活用して整備します

河道掘削・樹木伐採

洪水が溢れず流れる量を増やしたり、流れやすくすることで、川の水位を低くします。

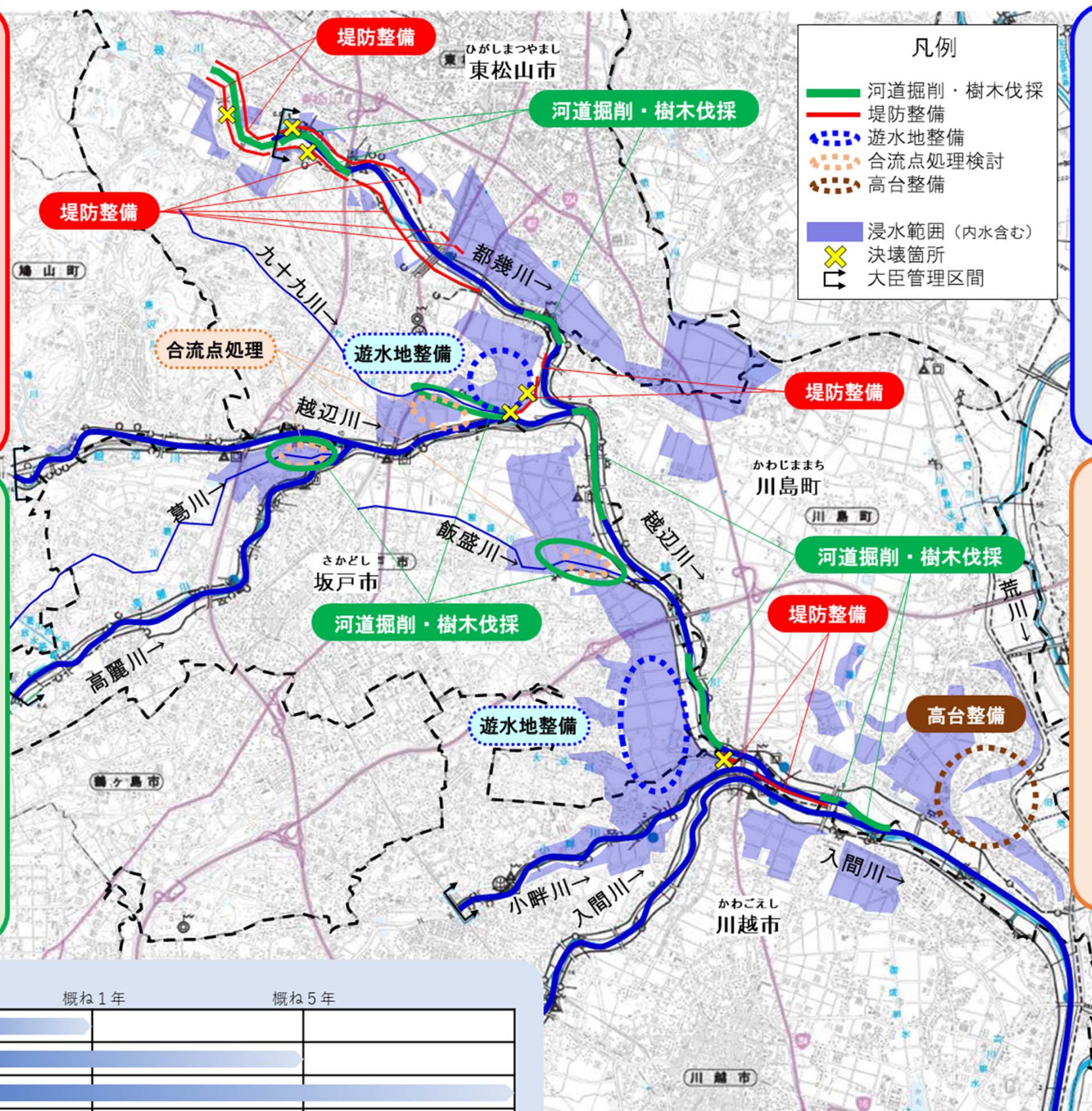


プロジェクト進捗状況

被災施設の復旧
河道の流下能力の確保
遊水・貯留機能の確保・向上
土地利用・住まい方の工夫

	概ね1年	概ね5年
被災施設の復旧		
河道の流下能力の確保		
遊水・貯留機能の確保・向上		
土地利用・住まい方の工夫		

令和2年4月時点



遊水地整備

流域の遊水機能の確保・向上の取組として、地形や現状の土地利用等を考慮した遊水地の整備を進めていきます。

（事例）小貝川 母子島遊水地



※河道内の掘削土を活用して整備します

合流点処理

合流点付近において、支川の溢水・越水軽減、支川流域内における内水浸水の軽減や本川への流出抑制を兼ねた、遊水地や排水機場等を組み合わせた対策を検討していきます。



（参考）排水イメージ

その他に遊水地整備等の計画を踏まえ、下記の検討・対策を実施します。

- ・土地利用制限
- ・家屋移転
- ・住宅の嵩上げ
- ・雨水流出抑制対策

多重防御治水とグリーンインフラ

多重防御治水とは

地域と連携し、

- ①河道の流下能力の向上による、**あふれさせない対策**
 - ②遊水・貯留機能の確保・向上による、**計画的に流域にためる対策**
 - ③土地利用・住まい方の工夫による、**家屋浸水を発生させない対策**
- が三位一体となって**社会経済被害の最小化**を目指す治水対策

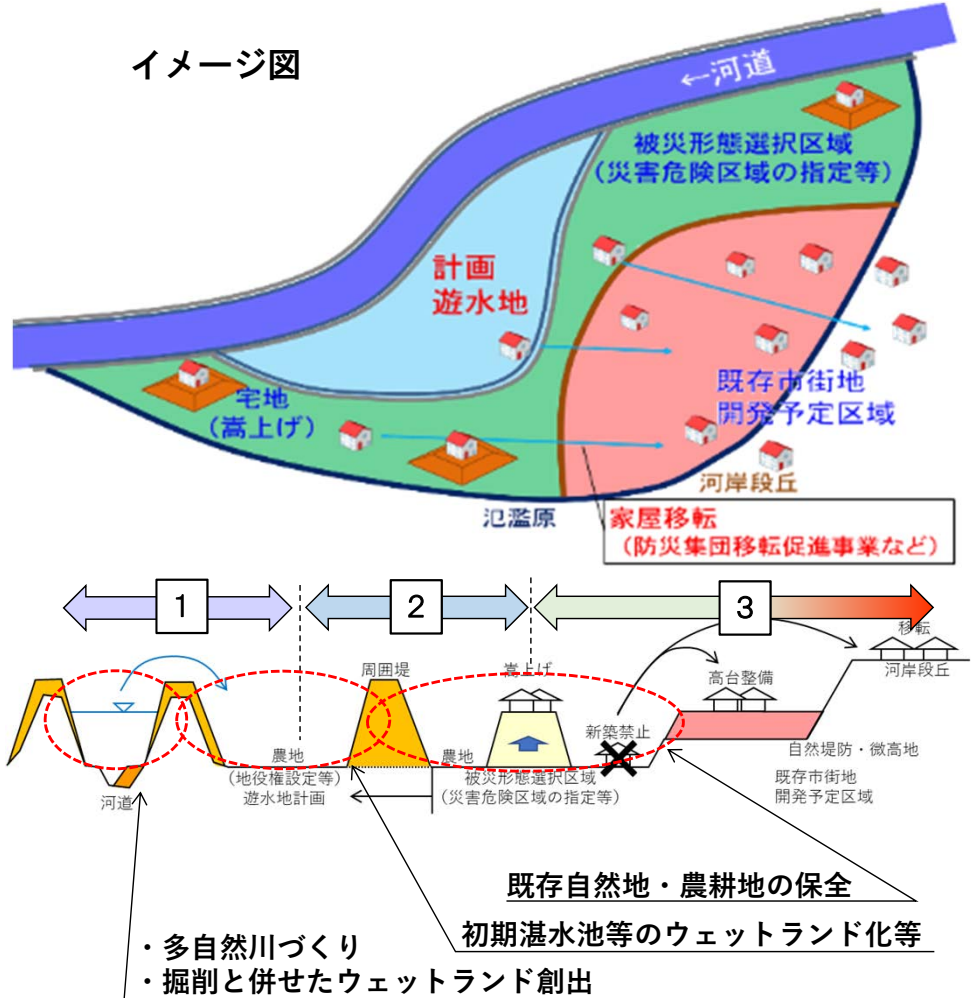
多重防御治水の実現と 環境・地域振興の実現の 両立を目指す

自然環境が有する機能

- ◎良好な景観形成
 - ◎生物の生息・育成の場の提供
 - ◎浸水対策（浸透等）
 - ◎健康・レクリエーション等文化提供
 - ◎延焼防止
 - ◎外力減衰、緩衝
 - ◎地球温暖化緩和
 - ◎ヒートアイランド対策
- 等



イメージ図



- 1 河道**の流下能力の向上
 - 河道内の土砂掘削、樹木伐採による水位低減
 - 堤防整備(掘削土を活用)
- 2 遊水・貯留機能**の確保・向上
 - 地形や現状の土地利用等を考慮した遊水地の整備
 - 既存ダム洪水調節機能強化
- 3 土地利用・住まい方**の工夫
 - 浸水が想定される区域の土地利用制限
 - 家屋移転、住宅の嵩上げ
 - 高台整備
 - 土地利用に応じた内水対策の検討

河道

エコロジカル・ネットワークの形成

流域

- 1 河道**のコリドー機能の向上
 - 多自然川づくりの徹底
 - 自然再生事業との連携
- 2 遊水・貯留機能**のウェットランドの創出
 - 初期湛水池等の水域の活用
 - 既存自然地・農耕地の保全
- 3 被災形態選択区域**の環境保全
 - 既存自然地・農耕地の保全（自治体等と連携して実施）
 - エコツーリズム・環境学習等への場の提供

※各地域の特性に合わせてメニューを検討

多重防御治水の実現

エコロジカル・ネットワーク形成

地域振興の実現

入間川流域緊急治水対策プロジェクト（ソフト対策）

「②減災に向けた更なる取組の推進」を図ります！

○同時多発的な被害発生により、情報が膨大となり、状況把握・情報伝達・避難行動が円滑に進まない課題が挙げられました。これを受け、関係機関等が連携し、円滑な水防・避難行動のための体制等の充実を図ります。

<主な取組メニュー>

○重要度に応じた情報の伝達方法の選択及び防災情報の共有化のための取組

- 自治体との光ケーブル接続
- 越水・決壊を検知する機器の開発・整備
- 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置

○関係機関が連携した水害に対する事前準備のための取組

- 令和元年東日本台風の課題を受けたタイムラインの改善
- 他機関・民間施設を含めた避難場所の確保
- 講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- 水のう等、水防活動資材の確保
- 緊急排水作業の準備計画策定と訓練実施、排水ポンプ車の配備
- 防災メール等を活用した情報発信の強化
- 広域避難計画の策定
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- 防災行政無線の戸別受信機整備
- 等

水位計、河川監視カメラの設置

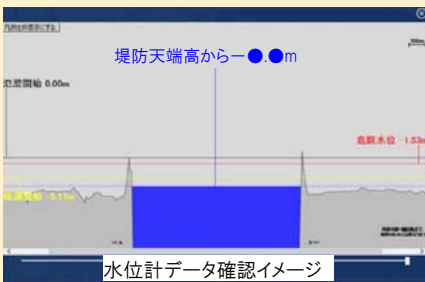
防災情報共有化の取組として、危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置（増設）を進めていきます。



水位計設置イメージ（小畔川2.8k精進場橋）



河川監視カメライメージ



水位計データ確認イメージ



カメラ画像イメージ（静止画）

他機関・民間施設を含めた避難場所の確保

不足する避難場所を補うため、他機関・民間施設との協定を締結し、避難場所の確保を進めていきます。

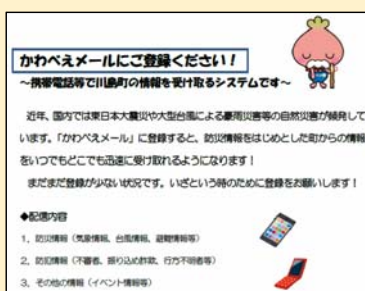
(株)平和アルミ製作所	ヘイワールド	北本市深井6丁目87番地	駐車場:約850台
(株)第一住宅	第一プラザ坂戸1000	坂戸市塚越1300番地	駐車場:約670台
NEXUS(株)	D'STATION坂戸店	坂戸市塚越1446番地	駐車場:約930台
(株)協同商事	COEDOクラブビル醸造所	東松山市大谷1352番地	駐車場:約500台
(有)みどりの郷あすか	みどりの郷あすか東松山	東松山市大谷1538番地1	
	みどりの郷あすか川島	川島町中山1347番地1	



災害時における施設等の提供協力に関する協定の締結について（川島町）

防災メールや戸別受信機整備

関係機関が連携した水害に対する事前準備のための取組として、防災メール等を活用した情報発信の強化や防災行政無線の戸別受信機整備を進めていきます。



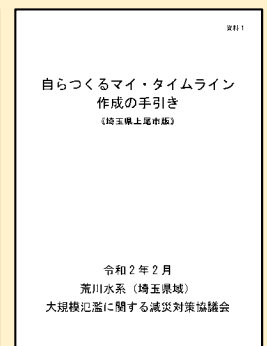
防災メール事例（川島町）



戸別受信機を用いた
防災行政無線の構成イメージ

講習会等によるマイ・タイムライン普及促進

作成手引きを配布し、講習会を開催すると同時に、地域の作成リーダー養成を進めていきます。



事例：坂戸市(左)、上尾市(右)

地域とともに進めていきます！

地元説明会や現地研修を実施し、行政と地域が一緒に進めます。

○荒川沿川の皆様を対象に、本プロジェクトに関する説明を行っています。本プロジェクトは地域の皆さんとともに進めていきます。

沿川市町での説明会

地区単位から住民の方々まで幅広く丁寧に説明します。

東松山市



自治会長の皆様への説明

坂戸市



住民の方々への説明

研修等での説明

自治体職員を対象とした研修等で、被災状況や工事の復旧について説明します。



自治体研修での講演



県研修での現場説明

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施時期・手法について配慮しながら進めていきます

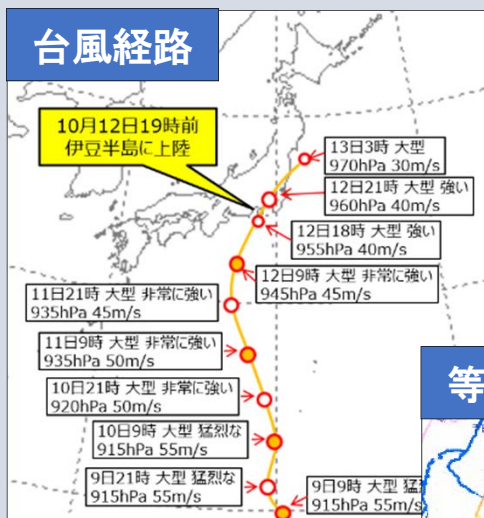
令和元年台風第19号について

2019年（令和元年）10月12日に日本に上陸し、関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。

大きな被害が発生したことから、気象庁は2020年（令和2年）2月19日に台風第19号を「令和元年東日本台風」と命名しました。

台風への命名は1977年の「沖永良部台風」以来、43年ぶりです。

台風経路



出典：気象庁提供資料

等雨量線図



問い合わせ先

荒川水系（埼玉県域）大規模氾濫に関する減災対策協議会〈入間川流域部会〉事務局
国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所

- ①多重防御治水の推進に関すること TEL 049-246-6360 FAX 049-243-9070
②減災に向けた更なる取組の推進に関すること TEL 049-246-6384 FAX 049-243-6078



都幾川左岸石橋地先の堤防復旧工事について

◆ 工事概要

令和元年10月の台風19号により、都幾川左岸の東松山市石橋地先の堤防が決壊しました。応急的な復旧として、10月18日までに元の堤防高までの盛土による締切りを完了させ、堤防の補強も含めた応急復旧対策を11月6日までに完了させたところです。

本工事は、応急的に復旧した堤防を災害に強くするため、強固に締固めた堤防につくり替えるもので、令和2年4月から着手し、6月の出水期までに堤防高の確保と一定の補強対策を完了する予定です。

工事の施工にあたっては、大型車両の通行等による砂埃、振動等や安全には十分配慮して、早期復旧に向けて鋭意施工を行いますので、近隣住民の皆様には、ご理解、ご協力をお願いいたします。

工 事 名 R1都幾川左岸石橋災害復旧工事

工 事 場 所 埼玉県東松山市石橋地先及び葛袋地先

工 事 期 間 令和2年4月上旬～令和2年7月中旬（予定）

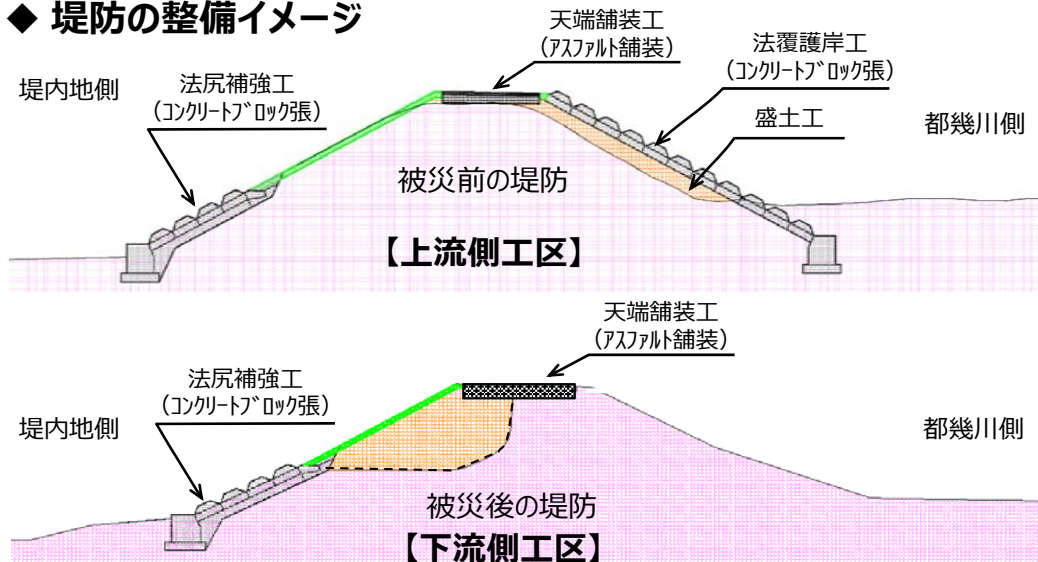
作 業 時 間 8：00～17：00（原則昼間作業・日曜日休工）

主な工事内容 施工延長 上流側工区約90m、下流側工区約300m
準備・仮設工1式、応急復旧堤防撤去工1式、盛土工1式、
法覆護岸工1式、法尻補強工1式、天端舗装工1式

【発注者】
国土交通省荒川上流河川事務所
越辺川出張所：0493-34-3129

【受注者】
株式会社島村工業
埼玉県比企郡川島町大字牛ヶ谷戸489番地
電話：0493-23-7781
担当：高橋（090-7705-1083）

◆ 堤防の整備イメージ



※本資料の記載内容は、現時点のものであり、今後、変更になる場合があります。

都幾川右岸葛袋地先の堤防復旧工事について

◆ 工事概要

令和元年10月の台風19号により、都幾川右岸の東松山市葛袋地先の堤防が決壊しました。応急的な復旧として、10月18日までに元の堤防高までの盛土による締切りを完了させ、堤防の補強も含めた応急復旧対策を10月30日に完了させたところです。

本工事は、応急的に復旧した堤防を災害に強くするため、強固に締固めた堤防につくり替えるもので、令和2年4月から着手し、6月の出水期までに堤防高の確保と一定の補強対策を完了する予定です。

工事の施工にあたっては、大型車両の通行等による砂埃、振動等や安全には十分配慮して、早期復旧に向けて鋭意施工を行いますので、近隣住民の皆様には、ご理解、ご協力をお願いいたします。

工 事 名 R1都幾川左岸石橋災害復旧工事

工 事 場 所 埼玉県東松山市石橋地先及び葛袋地先

工 事 期 間 令和2年4月上旬～令和2年7月中旬（予定）

作 業 時 間 8：00～17：00（原則昼間作業・日曜日休工）

主な工事内容 施工延長 約40m
準備・仮設工1式、応急復旧堤防撤去工1式、盛土工1式、法覆護岸工1式、天端舗装工1式

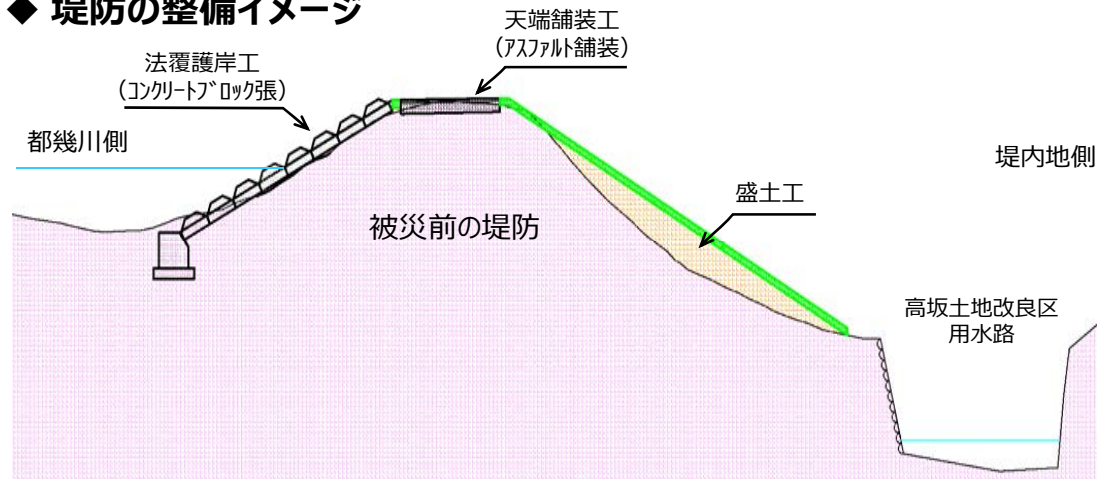
【発注者】

国土交通省荒川上流河川事務所
越辺川出張所：0493-34-3129

【受注者】

株式会社島村工業
埼玉県比企郡川島町大字牛ヶ谷戸489番地
電話：0493-23-7781
担当：高橋（090-7705-1083）

◆ 堤防の整備イメージ



工事箇所周辺図



工事完成イメージ

※本資料の記載内容は、現時点のものであり、今後、変更になる場合があります。

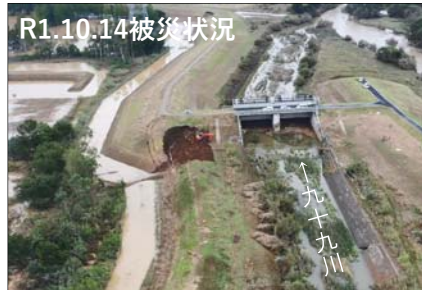
被災堤防は概ね復旧、引き続き補強対策を進めています

② R1越辺川左岸正代緊急復旧工事がR2.6.10に完了しました。（東松山市正代地先）【小川工業(株)】

R2.5.29撮影（施工完了）



R1.10.14被災状況



R1.11.12緊急復旧完成後



現場代理人：巻島

受注者（小川工業(株)）からのコメント

今回、令和元年10月13日からの緊急復旧工事、令和2年3月からの本復旧工事を担当しました小川工業(株)です。工事期間中は、地域の皆様、河川利用者の皆様には、大変ご協力頂き無事に工事を完了することができました。この工事を通じ、何よりこの地域に安全な堤防を完成させることができて、現場スタッフ一同、大変うれしく思っています。失礼とは思いますが、紙面をもちましてお礼の挨拶とさせていただきます。

工事実施状況

R2.6.10現在、復旧工事について、堤防の一定の高さまで確保が完了しました。引き続き補強対策を進めて参ります。



いのちとくらしをまもる防災減災

工事実施状況の詳細はコチラ



④ 東松山市葛袋地先【(株)島村工業】



R2.6.3撮影

④ 東松山市石橋地先【(株)島村工業】



R2.6.3撮影

⑤ 東松山市正代地先【関口工業(株)】



R2.6.3撮影



R2.6.3撮影

③ 東松山市早俣地先【伊田テクノス(株)】



R2.6.4撮影

① 川越市平塚新田地先【荒木建設工業(株)】



R2.6.2撮影

6月から出水期(大雨により川が増水しやすい時期)※です 川の状態を知り台風などの災害に備えましょう

※出水期は6月1日～10月31日(関東地方整備局)

川の情報を確認してみよう

「川の防災情報」というサイトでは、全国の川の水位情報だけではなく、降雨状況やリアルタイム画像などを見ることが出来ます。また、増水により危険となった(警報が発表されている)川を確認することができます。

これらの情報を活用して近くの川がどうなっているかを調べてみましょう。

川の防災情報トップページ



リアルタイム画像も
確認できます

避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について

各自治体のウェブサイトに、地震や台風などの災害時における避難所での新型コロナウイルスへの感染予防対策について、気をつけるべき事項やご協力をお願いなどが掲載されています。

お住まいの自治体ウェブサイトを確認し、避難が必要な時にどのように行動するかを検討や事前に準備が必要となるものなど確認してみてください。

川越市HP



東松山市HP



坂戸市HP



川島町HP



減災対策協議会を開催しました

令和2年5月28日に第7回荒川水系(埼玉県域)大規模氾濫に関する減災対策協議会を開催しました。本会議は、国、県、44市町、水資源機構により構成され、防災減災に関する取り組みの共有、防災情報や連絡体制の確認などを行いました。

昨年度の東日本台風を踏まえた新たな課題や取り組むべき対策について、よりの確に地域の安全を確保していくことを目指し、各構成員と連携して進めていきます。



※コロナ感染予防のため、TV会議で開催しました

今までに実施した減災対策協議会に関する情報はコチラ



入間川流域
緊急治水対策プロジェクト

国土交通省 関東地方整備局
荒川上流河川事務所

入間川流域緊急治水対策プロジェクトの情報はコチラ
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo00885.html>



工事に関する問合せ：越辺川出張所 (0493-34-3129)
事業に関する問合せ：荒川緊急治水対策推進室 (049-246-6360)

堤防の補強対策を進めています

④ R1越辺川左岸正代仮置土整備工事(東松山市正代地先)【関口工業(株)】



R2.6.23撮影(盛土材混合処理の機械)



監理技術者:中村 現場代理人:皆川

受注者(関口工業(株))からのコメント

R1越辺川左岸正代仮置土整備工事を施工しています関口工業株式会社の皆川です。当工事は、堤防盛土に必要な土砂の混合及び置場の整備工事を行っています。工事期間中は土砂を運搬する車両が多く通行し、地域の皆様にはご不便をおかけすることと思いますが、ご理解ご協力いただけるよう、安全に十分配慮しながら作業を行っていきます。現場に関してお気づきの点がございましたら、気軽にお声掛け下さいますようお願いいたします。

① 川越市平塚新田地先【荒木建設工業(株)】



R2.6.23撮影

③ 東松山市石橋地先【(株)島村工業】



R2.6.24撮影

③ 東松山市葛袋地先【(株)島村工業】



R2.6.24撮影

② 東松山市早俣地先【伊田テクノス(株)】



R2.6.17撮影

■工事等実施状況

R2.6.26現在、引き続き堤防補強工事を行っています。

7月中旬には「東松山市石橋地先」「東松山市葛袋地先」の工事が完了予定です。



工事実施状況の詳細はコチラ ➡



共同巡視を実施しています

共同巡視とは、洪水に対するリスクの高い区間（過去に被災した箇所、昔は川が流れていた場所など）を水防管理団体と荒川上流河川事務所が共同で毎年開催している現場点検です。

事前に合同で現地を確認することにより、洪水時に水防団による迅速な水防活動（土嚢積みなど）を行うことができるよう準備します。

洪水に対するリスクの高い区間は重要水防箇所として事務所ホームページに掲載していますので、確認してみてください。



重要水防箇所の情報はコチラから⇒

令和2年実施状況（越辺川）



令和2年実施状況（都幾川）



洪水ハザードマップについて

洪水ハザードマップとは、国や県によって指定・公表されている浸水想定区域図を元に自治体で作成するマップです。

このマップには、想定される最大の大雨が降った場合に浸水が発生する範囲や避難所や避難経路などが記載されています。

避難所への道路が浸水により通れない場合が想定されますので、どの道路を通過してどこに避難するか事前に考えてみてください。



ハザードマップポータルサイトで各自治体の情報が確認できます



測量、地質調査等の実施について

現在、被災箇所における堤防復旧工事を行っています。これから実施していく「樹木伐採・河道掘削」「堤防整備」などを行うための測量や地質調査などを順次実施していきます。調査の際は車両の通行禁止を伴う場合もあり、ご迷惑おかけいたしますがプロジェクトの円滑な推進のためご協力の程よろしく申し上げます。



（写真左）堤防部における地質調査
（写真右）UAVを用いた河川測量



入間川流域 緊急治水対策プロジェクト

入間川流域緊急治水対策プロジェクトの情報はコチラ
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo00885.html>



国土交通省 関東地方整備局
荒川上流河川事務所

工事に関する問合せ：越辺川出張所（0493-34-3129）
事業に関する問合せ：荒川緊急治水対策推進室（049-246-6360）

越辺川右岸平塚新田地先の堤防復旧対策が7月末に完了します

① R1越辺川右岸平塚新田緊急復旧工事(川越市平塚新田地先)【荒木建設工業(株)】



受注者（荒木建設工業(株)）からのコメント



現場代理人
柏原

令和元年10月14日からの緊急復旧工事及び令和2年2月からの本復旧工事を施工させていただいている荒木建設工業(株)です。本復旧工事につきましては、7月末完成予定で、現在、施工が最終段階に入っております。工事期間中は地域の皆様、河川利用者の皆様に多大なご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。現場スタッフ一同、最後まで気を緩めず、無事故無災害での完成を目指し頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。

② R1 都幾川右岸早俣緊急復旧工事(東松山市早俣地先)【伊田テクノス(株)】



R2.7.16撮影

③ R1 都幾川左岸石橋災害復旧工事(東松山市石橋地先、葛袋地先)【(株)島村工業】



R2.7.15 撮影



R2.7.15撮景

■工事等実施状況

R2.7中旬現在、引き続き堤防補強対策を行っています。

「川越市平塚新田地先」のほか、「東松山市石橋地先」「東松山市葛袋地先」についても7月中に堤防の復旧が完了します。



**工事実施状況の
詳細はコチラ**



河川情報(水位、カメラ)の確認方法について



川の防災情報

今回は以前に紹介したwebサイト「川の防災情報」を活用した河川情報の確認方法についてご紹介します。

ステップ1

パソコン、スマートフォンなどで「川の防災情報」と検索してサイトを開いてください



ステップ2

川の水位情報を選択すると地図が出るので、確認したい場所に画面を移動してください



ステップ3

水位を確認する場合は、、を、カメラ画像を確認する場合はを選択してください



水位の状態(危険度)で色が変わります

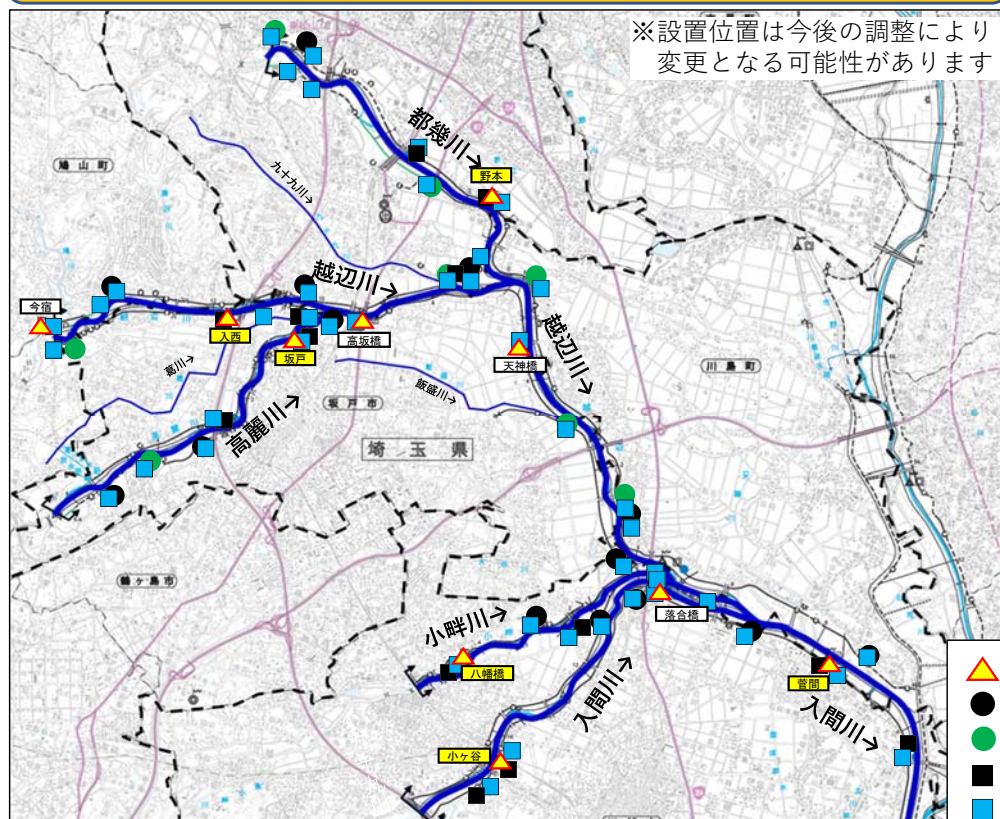
ステップ4

選択した箇所のカメラ画像(5分毎更新)と現在の水位(堤防や各種水位までの高さの差)を確認することができます
周辺の河川情報を確認し、避難する判断の参考材料としてください



表示切替ができます

水位計、カメラの設置状況について



既存の水位計、CCTVカメラに加え、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置を行っています。

入間川流域では、危機管理型水位計8台、簡易型河川監視カメラ47台を新たに設置予定です。

現在までに東松山市早俣地区、石橋地区にてカメラ2台の設置が完了しています。

	水位観測所	:10箇所
	危機管理型水位計(既存)	:14箇所
	危機管理型水位計(新設)	: 8箇所
	CCTVカメラ(既存)	:13箇所
	簡易型河川監視カメラ(新設)	:47箇所

入間川流域 緊急治水対策プロジェクト

入間川流域緊急治水対策プロジェクトの情報はコチラ
<https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo00885.html>



国土交通省 関東地方整備局
荒川上流河川事務所

工事に関する問合せ：越辺川出張所 (0493-34-3129)
事業に関する問合せ：荒川緊急治水対策推進室 (049-246-6360)